

一般受験者受け入れの流れ

Step 1 受け入れ可否 アンケート回答	各回次申込開始の 約3~4週間前	対象団体様には英検協会よりメールもしくはFAXでご案内いたしますので、受け入れ可否をウェブフォームよりご回答ください。 注意事項 一般受験者受け入れの取り組みは、準会場実施の実績等を踏まえ、英検協会の基準に合致する団体様にご協力ををお願いしております。
Step 2 専用受付資材 の到着	アンケート回答後 1~2週間後より 順次発送	一般受験者受け入れ専用の受験案内・ポスター・シール・一般受験者受け入れ手順書を送付いたします。 注意事項 ご登録の住所宛にお送りします。送付先の指定はできません。 ▲受験案内(アンケートで回答いただいた部) ▲ポスター(1部・A3サイズ) ▲受け入れ手順書(1部)
Step 3 英検ウェブサイト に掲載	各回次 申込受付開始日	Step1で回答いただいた内容をもとに、英検ウェブサイトに一般受験者受け入れ準会場団体一覧を掲載いたします。 ▲英検ウェブサイト
Step 4 受験者から 連絡・受付	各団体様設定の 受付期間	英検ウェブサイトやポスターを見て、受験者様が各団体様へ直接連絡をします。一般受験者受け入れ専用の受験案内をもとに受け付けてください。 ※詳細の流れは、Step2で届く受け入れ手順書をご確認ください。 ※受験者様に個人情報を記入いただいた受験案内の申込用紙(団体控え)は成績表の返却の際に使用する場合がございます。成績表の返却が完了するまで必ず保管をお願いいたします。
Step 5 団体準会場 受験申込	各回次の 受付期間	貴団体の受験者様と一般受験者様とを合わせて、英検協会に準会場申込をしてください。 注意事項 一般受験者受け入れ有無にかかわらず、団体準会場受験は10名以上でお申し込みが可能です。万が一、志願者数が10名に満たない場合には英検サービスセンターにお問い合わせください。
Step 6 試験実施・ 成績表返却	各回次の 試験実施・成績表送付 スケジュールは 英検ウェブサイトを ご確認ください。	貴団体で設定した日時で一次試験を実施してください。一般受験者様が安心して受験できますようにご配慮・ご協力ををお願いいたします。成績表および合格証明書は貴団体に一括して送付しますので、一般受験者様には受け取りに来るようご案内ください。

よくあるご質問

Q 満席になったら、英検ウェブサイトの掲載を取り下げるとは可能ですか。

A 可能です。受け入れ可否アンケートに記載の公開停止申請フォームにご回答ください。

Q ほかの受験者への迷惑行為が心配なので、年少の受験生をお断りしたいのですが… / 地元優先で受け入れたいため、市外の受験希望者はお断りしたいのですが…

A 受け入れの可否(誰を受け入れて、誰を受け入れない)については各団体様にてご判断ください。

Q 一般受験者を受け入れている場合も、団体申込は10人以上からですか?

A 10人以上(一般受験者を含む)で団体申込が可能です。
(一般受け入れをしているかどうかで団体申込の条件は変わりません)
万が一、志願者数が10名に満たない場合には英検サービスセンターにお問い合わせください。

Q (通信費等の)手数料として、通常の検定料に加算した金額を受験者から徴収して良いですか。

A 貴団体のご事情により追加料金を徴収することについて、英検協会は関知しません。検定料は全国一律ですので、受験者様に誤解を与えぬよう貴団体の事務処理等にかかる費用分の加算であることをご説明ください。

Q 試験結果を取りに来ない受験者がいる場合は、どう対応すれば良いですか。

A 二次試験成績表必着日から60日は保管していただき、その後は破棄していただいても結構です。
(受験者様にお渡しいただく一般受験者受け入れ専用の受験案内にも記載しています)

一般受験者 受け入れに ご協力をお願いいたします



英検協会は、2020年度より所属団体(学校・塾など)で受験ができない

一般受験者を受け入れていただける準会場実施団体を募り、

その一覧を英検ウェブサイトに掲載しております。

すでに累計6,800以上の団体様にご協力をいただいており、

受験者様からは「自宅近くの会場で受験できた」「準会場の検定料で受験ができてよかった」等、大変ご好評をいただいております。

より多くのエリアで、より多くの受験者様に英検の受験機会を提供するため、ぜひ一般受験者受け入れにご協力をお願いいたします。

注意事項 一般受験者受け入れの取り組みは、準会場実施の実績等を踏まえ、英検協会の基準に合致する団体様にご協力ををお願いしております。



すでに一般受験者を受け入れた塾様の実施理由

受験機会の 提供による 地域貢献



英検受験を きっかけにした さらなる学習支援



自校での 安定的な 準会場実施



具体的なお声を次ページでご紹介いたします。

全国各地で多くの塾様に一般受験者受け入れにご協力いただいています。

すでに一般受験者を受け入れた塾様の声



北海道

年間申込人数 50~100名

地域柄、本会場が遠方になるため、近隣に受験会場がないことで受験を見送る声を聴いてきました。地域の子どもたちに受験の場所を提供してあげたいという思いで受け入れを行っています。受験者に喜んでもらえてやりがいを感じています。



栃木県

年間申込人数 30~50名

自校生徒でない子どもや保護者とかかわることで、私自身の成長と学びに繋がっていると感じています。この取り組みを通して、教室の雰囲気等を気に入ってくれたり、継続して英検を受験しに来てくれる方や入塾される方とも出会うことができました。



東京都

年間申込人数 100~150名

都外の方からもお問い合わせをいただきます。席に限りがあるため、全員を受け入れることができないのは残念ですが、この取り組みを通して塾の認知度が上がっていると感じています。受験者にも塾にもメリットがある取り組みですので、これからも継続して取り組んでいきたいです。



神奈川県

年間申込人数 100~150名

娘の友達の保護者から「コロナ禍で英検受験の場が限られ困っている」と話を聞いたのがきっかけで、地域の英語教育に貢献できればと思い、一般受験者受け入れの協力を始めました。一般受験者の中には小学生で2級にチャレンジする方もいて、教室にとって非常に刺激になっています。



岐阜県

年間申込人数 100~150名

もともと遠方の会場で受験する方を気の毒に思い、自主的に塾生以外を受け入れていました。英検のウェブサイトに掲載されたことで問い合わせが増え、今では回次あたり20~30名の一般受験者を受け入れています。新しい顧客との接点になっており、今後も続けていきたいです。



福岡県

年間申込人数 30~50名

一般受験者受け入れに協力する前は、自校生徒だけだと10名を切つてしまい、団体申込ができないことがありました。一般受験者受け入れをすることで、安定して10名以上を確保することができ、自校生徒に確実に受験機会を提供できることが一番うれしいです。



一般受験者受け入れの流れを次ページでご紹介します。

一般受験者受け入れ制度をご利用いただいた保護者様からの声



一般受け入れ団体で4級を受験した小学生の保護者様

小学生の娘が英語が大好きで、英検にチャレンジしています。5級は公開会場で受験しましたが、土地柄、長時間の移動があり娘は受験までに疲れてしまったようでした。この取り組みを知り、4級は近所で受験できました。塾のスタッフも親切にご対応ください、移動の疲れもなく試験で力を発揮できたようで、感謝しています。



一般受け入れ団体で3級を受験した中学生の保護者様

息子は習い事の関係で、公開会場の試験日である日曜日では英検の受験ができず、進路のことを考えると焦りを感じていました。近所の塾が土曜日に実施していることを知り、運よくその塾で受験することができました。個人で申し込むよりも検定料も安く、とても助かりました。

